

1. 岡山大学における教育

1－1 岡山大学の理念・目的・目標

1. 岡山大学の理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなければなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2. 岡山大学の目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるという、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3. 岡山大学の目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利を生かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

1. 岡山大学における教育

1-2 岡山大学における学士課程教育構築の取り組み

1. 「学士課程教育構築」？「学士力」？

「学士課程教育構築」「学士力」という言葉は、岡山大学独自のものではありません。

「学士課程教育構築」については、2005年1月の文部科学省中央教育審議会による答申「我が国の高等教育の将来像」により、次のように説明されたことが原点となっています。「現在、大学は学部・学科や研究科といった組織に着目した整理がなされている。今後は、教育の充実の観点から、学部・大学院を通じて、学士・修士・博士・専門職学位といった学位を与える課程(プログラム)中心の考え方に再整理していく必要があると考えられる。」これ以降、主に2008年12月「学士課程教育の構築に向けて」および2012年8月「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」の答申を通じ、日本の高等教育における「学部教育」から「学士課程教育」への転換が課題とされてきました。

「学士力」は、これらの答申の中で、学生の学修分野にかかわらず、大学が社会に送り出す卒業生に保証すべき基本的な能力として示されています。

岡山大学では、2008年の答申直後から、本学の学士課程教育構築に向けた取り組みを開始し、まず、後で述べる5つの基本的な能力を学士力と定め、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー、DP)の中で、学士課程教育における人材育成の目標としました。続いて、教養教育並びに専門教育によってこの目標を達成するための方針として「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー、CP)」、本学の教育と受験生とのマッチングのため、岡山大学が求める人材を示す「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー、AP)」を定め、公表しています。

本学は現在学士課程教育の実質化ならびに質の向上を目指してその方策を検討・実行しています。

2. 岡山大学の「学士力」

岡山大学は、ディプロマ・ポリシーで「教養」「専門性」「情報力」「行動力」「自己実現力」の5つを学士力と定め、これを身につけた学生を卒業生として送り出すことを宣言しています。

岡山大学 5つの「学士力」

(岡山大学ディプロマ・ポリシー 2010年4月19日学長裁定(2020年9月16日改訂)より)

人間性に富む豊かな教養 【教 養】

自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、先人の足跡に学び、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。

目的につながる専門性 【専門性】

専門的学識と時代を担う技術を身につけていると共に、それらと自然・社会とのつながりを意識し、社会に貢献できる。

効果的に活用できる情報力 【情報力】

必要に応じて自ら情報を収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力 【行動力】

多様性や包摂性といった共生・共創のための国際感覚とともに、社会生活に求められるコミュニケーション能力を有し、持続可能な社会の実現に向けて、的確に行動できる。

生涯に亘る自己実現力 【自己実現力】

自立した個人として能力や強みを発揮し、生涯にわたって自分と他者または社会とのつながりの中で調和を保ちつつ、人類全体の発展に貢献できる。

※各学部・学科でも、これを基礎とした独自の学士力を、各学部・学科のディプロマ・ポリシーに定めています。

1. 岡山大学における教育

ディプロマ・ポリシーで示す学士力を身につけられるよう、効果的に教育するためのカリキュラムポリシーを定めています。

岡山大学カリキュラム・ポリシー（2012年11月29日学長裁定（2020年9月16日改訂）より）

岡山大学は、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養，目的につながる専門性，効果的に活用できる情報力，時代と社会をリードする行動力，生涯にわたる自己実現力）を備え，世界の多様な課題に取り組むことのできる人材を育成するため，教養教育科目および専門教育科目を提供しています。

教養教育科目は，全学部 of 学生が共通に受ける授業と位置付け，学生自身の専門に偏ることのないよう，幅広い学問領域の科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。また，専門教育科目は，学生が属する学部・学科等に特有の授業内容で構成され，各学部・学科等の教育目的に則した科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。これら教養教育科目ならびに専門教育科目を体系化したカリキュラムを編成し，学生に提供します。

また、『人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築』という本学の目的を踏まえ，持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成を意識した学修方法・学修過程，学修成果の評価に取り組んでいます。

※各学部・学科でも，これを基礎とし，各学部・学科のカリキュラム・ポリシーを定めています。

また，学生は，主体的に問題を発見し，解を見いだしていく能動的な学修習慣を身につけることが重要です。そのためには，①授業の予習（資料の下調べや読書，思考，学生同士のディスカッション等），②授業の受講（教員の直接指導，その中での教員と学生，学生同士の対話や意思疎通），③授業の復習（授業内容の確認や理解の深化のための探求等）を通して主体的な学修に要する総学修時間の確保が不可欠です。授業の受講のためには，例えば講義の場合，その授業時間の倍の時間を，予習，復習に充てることを実践してください。

3. これからの取り組み

先に述べた，ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーの設定等は，本学における学士課程教育構築のための取り組みの一部であり，他にも，本学の教養教育を強化する方策や授業科目の新設等も検討しています。

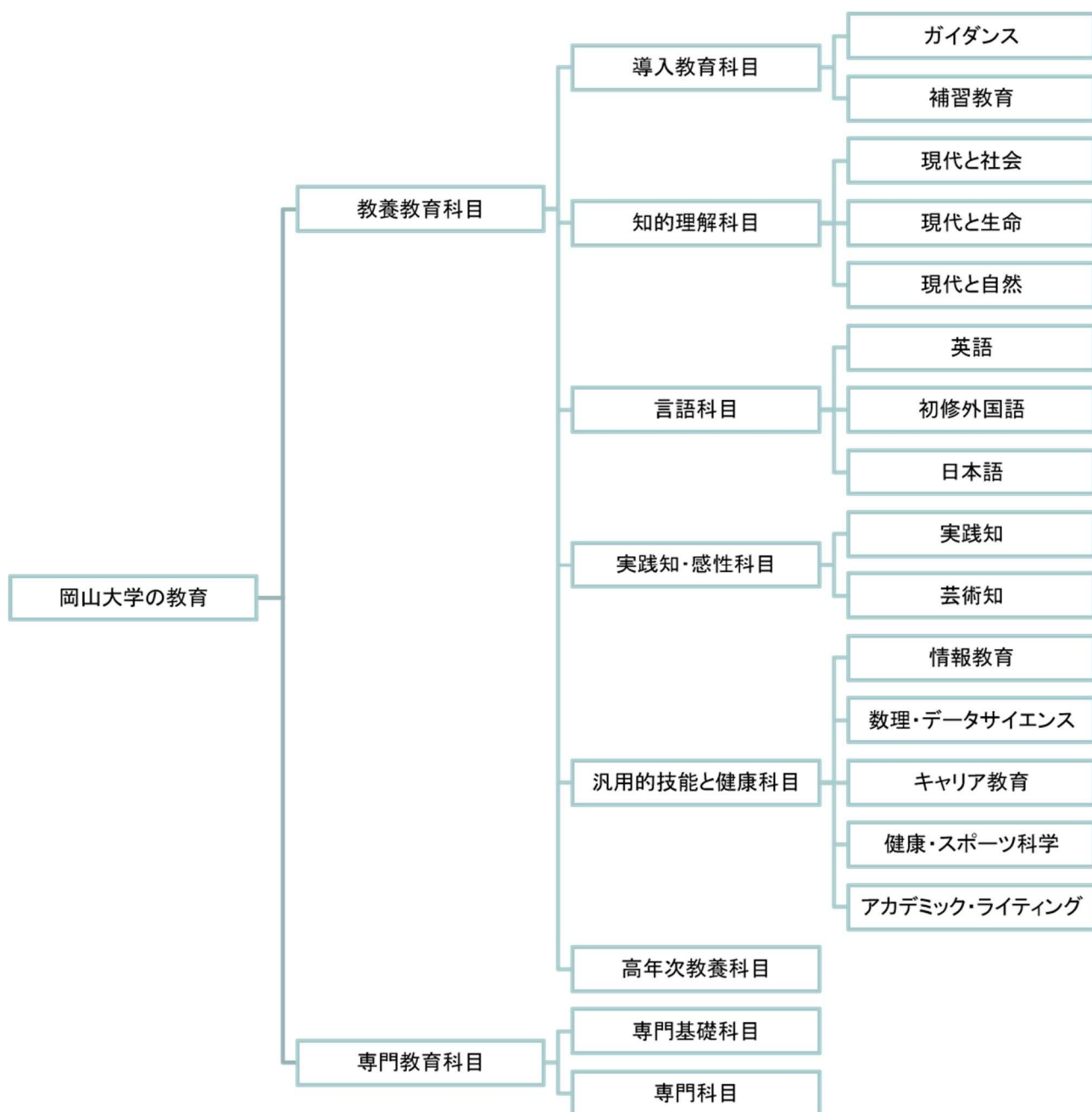
また，大学生活の中で得られる学びの機会は，正課内にのみあるものではありません。学士力には，「自己実現力」等，学生が自主的に取り組む課外活動や社会活動を通じても育成される力があります。岡山大学では，将来的にはこのような授業科目以外の学生生活で育まれる能力についても，学士力と認めていきたいと考えています。

1. 岡山大学における教育

1 - 3 岡山大学の教育課程

1. 二つの大きなプログラムー「教養教育」と「専門教育」ー

岡山大学の教育プログラムは、所属する学部の違いを超えた共通の授業内容から成る「教養教育」と、それぞれの学部に固有の授業内容から成る「専門教育」の二つで構成されています。



1. 岡山大学における教育

2. グローバル人材育成特別コース（Gコース）

このコースでは、将来グローバル社会のリーダーとして実践的に活躍できる人材を育成します。コース生になると、それぞれの学部等に所属しながら国際色あふれるコースカリキュラムを履修することができます。1年次を中心に4技能（読む・聴く・書く・話す）を徹底して鍛える英語力養成プログラムで語学力を高め、SDGsに関連する授業など多彩な科目を備えたグローバル・コア科目で、世界のさまざまな課題を意識しながらグローバル社会の在り方への理解を深め、論理的思考力やコミュニケーション能力を培います。このコースで学んだ学生たちは語学研修や異文化体験、海外留学やインターンシップ等にチャレンジ、豊かな国際感覚だけでなく行動力や責任感に優れたグローバルリーダーシップを育み、グローバルに活躍できる人材をめざします。

グローバル人材育成院では、コース生の学修計画に応じて、コースの履修や英語の学習・海外研修・留学への参加など、さまざまな場面でサポートを行っています。

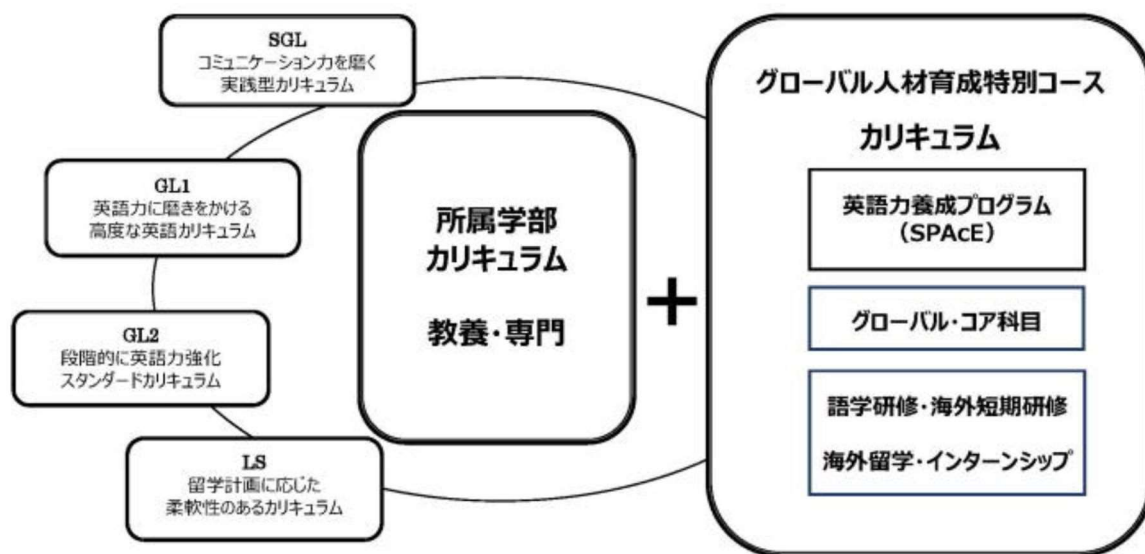
⇒詳細はこちらをご覧ください。

グローバル人材育成特別コース HP <http://global.okayama-u.ac.jp>

入学～修了までの流れ



語学基準と留学スタイルで英語カリキュラムが異なる4つのグループに分かれて学びます。



本コースには、上記とは別に「学部・学科型プログラム」もあります。（詳細はホームページをご参照ください。）

3. ナンバリングコード

ナンバリングコードとは各授業科目の分野、対象学生及び授業内容のレベル等を分類し、特定の記号や番号を付すことで教育課程の体系性を明示するコードのことです。

岡山大学のナンバリングコードは、「AREA t TGET x pqr W」の14桁で構成されており、「AREA＝分野」「t＝授業形態」「TGET＝対象学生」「x＝レベル」「pqr＝授業を識別するための連番」「W＝留意事項の有無」の6つのカテゴリーに区別されます。各カテゴリーの詳細については「巻末資料（P.51～）」をご覧ください。

なお、ナンバリングコードは各授業科目のシラバスに掲載されています。詳細については、WEBシラバスで確認してください。

1. 岡山大学における教育

1 - 4 大学で学ぶために

1. 学生番号

学生番号とは学生個人を表す番号で、学生証に8桁で表されています。出席カード、レポート、試験の答案など、重要な書類の提出の際に必要となりますので、学生証は常に携行し、学生番号も間違いのないように記憶しておいてください。

学生番号の構成は次のとおりです。

【法学部法学科夜間主コース501番の学生の場合】

学部コード (2桁)	課程コード (1桁)	入学年度 (2桁)	一連番号 (3桁)
0 3	B	2 1	5 0 1

【学部コード】

学 部	学部コード
法学部	03
経済学部	04

2. 資料に目を通す

大学では、自分で授業を選び、自主的に学んでいく姿勢を持たなくてはなりません。そのための資料として、次のようなものが用意されています。

- ・『教養教育科目 履修の手引・授業時間表』
- ・各学部の『学生便覧』または『履修の手引』※名称は学部により異なることがあります。
- ・各学部の『授業時間割』※名称は学部により異なることがあります。
- ・『授業概要（シラバス）』

なお、シラバスは、本学のホームページから閲覧することができます。

<https://www.okayama-u.ac.jp/>

→「在学生・保護者の方」→「シラバス」

このWebシラバスは、必要に応じて教員が随時内容を更新します。

シラバスには、授業概要や授業担当教員名の他、ナンバリングコード、授業計画、授業時間外の学習（予習・復習）方法、授業形態、教科書等、成績評価などが記載してあります。シラバスは、皆さんが授業科目を履修する際、準備学習等を進めるための基本となるものです。また、授業の内容を事前に把握できるので、計画的・体系的な授業科目の選択が可能となります。

1. 岡山大学における教育

皆さんが、大学を卒業するためには、それぞれの所属する学部学科等によって決められている教養教育科目及び専門教育科目の卒業要件単位数を満たさなければなりません。

そのために、自分で履修計画を立てなければなりません。まず自分の時間割をつくる必要があります。大学では、これまでと違って自由に授業を選べるわけですから、ひとりひとり違う時間割があることになります。

受けてみたい授業が決まったら、履修の手続きが必要になりますが、必ず受けなければならない授業（必修科目）などが、学部学科等によって決まっているので、注意してください。

3. 時間割をつくる

時間割と授業概要（シラバス）を見て受講する予定の授業を選びます。

4. 授業の登録

受ける授業が決まったら、学内でパソコンからWebによって履修科目を登録します。

Web履修登録の入力期間は、学部により異なりますので、掲示（所属学部の掲示板）に注意してください。

5. 掲示

休講・補講・試験に関する情報などは、掲示によってお知らせします。

夜間開講の教養教育科目については、法学部・経済学部の夜間主コース掲示板で確認するようにしてください。

昼間開講の教養教育科目を履修する場合は、一般教育棟A棟1階の掲示板で確認するようにしてください。

6. その他

教養教育科目について分からないことがあったら、一般教育棟A棟2階の学務企画課教育支援グループ（②番窓口）で相談してください。